

令和2年度 メディア説明会

令和2年7月2日

目 次

- 1) 今年の7～9月までの天候の見通しと大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善について(富山地方気象台) P1～14
- 2) 河川に関する防災情報の入手方法について(富山河川国道 調査第一課) P15～29
- 3) 砂防・土砂災害の取組状況(立山砂防 調査課) P30～37
- 4) 事前通行規制区間について(富山河川国道 道路管理第一課) P38～39

- 今年の7～9月までの天候の見通し
- 大雨特別警報解除後の
洪水への警戒呼びかけの改善について


富山地方気象台

3か月予報（天候見通し） 7～9月

今日の当番はれるん



7～9月の月別の降水量

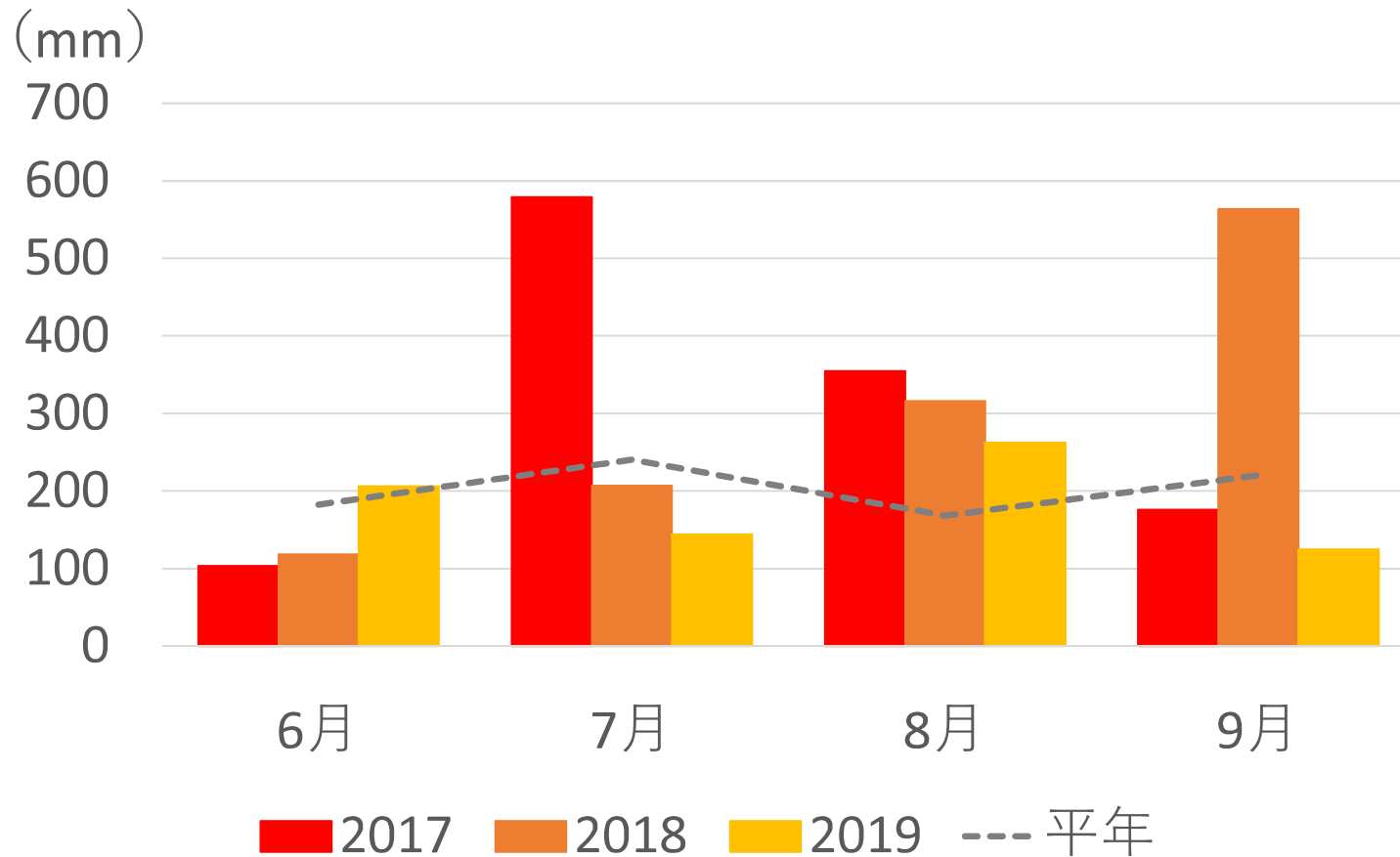
	降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
北陸地方	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
 数値は予想される出現確率です			

月別の天候

7月	8月	9月
前線や湿った空気の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。↵	太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。↵ ↵	低気圧と高気圧が交互に通過し、平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。↵ ↵

富山市の月別の降水量

北陸地方	梅雨入り	梅雨明け
今年	6/11頃	
平年	6/12頃	7/24頃
昨年	6/ 7頃	7/24頃



7月～9月 注意・留意点等

7月

- 梅雨の時期にあたり、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多い。太平洋高気圧が日本の南で西に張り出す予想から、日本海側からの湿った空気の影響を受けやすいため、梅雨期の前線による大雨に留意。
- 気温上昇による農作物管理や「熱中症」など体調管理に注意。

8月

- 太平洋高気圧が日本の南海上を中心に強く、本州付近へ張り出しやすいため、平年に比べ晴れの日が多い。
- 気温上昇による農作物管理や「熱中症」など体調管理に注意。

9月

- 低気圧と高気圧が交互に通過し、日本海側からの湿った空気の影響を受けやすいため、大雨に留意。
- 残暑が厳しくなる可能性があります。農作物管理や「熱中症」など体調管理に注意。

※梅雨の時期(梅雨入り・梅雨明け・期間)について

季節予報が対象とする現象よりスケールの小さな現象に左右されるため、梅雨入り・梅雨明けの予想はできません。北陸 梅雨入り 6/11頃(昨年6/7頃) 梅雨明け 平年7/24頃(昨年7/24頃)

大雨特別警報解除後の 洪水への警戒呼びかけの改善について

今日の当番はれるん



- 「平成30年7月豪雨」では、気象庁や関係機関からの防災気象情報の発表や自治体からの避難の呼びかけが行われていたものの、それらが必ずしも住民の避難行動に繋がっていなかったのではないかと指摘があった。
- 「防災気象情報の伝え方に関する検討会」では、大雨時の避難等の防災行動に役立つための防災気象情報の伝え方について課題を整理し、その解決に向けた改善策をとりまとめた。

<改善策と推進すべき取組>

1. 危機感を効果的に伝えていく

対応1-1 市町村の防災気象情報等に対する一層の理解促進

～避難勧告等の発令判断を支援する取組～

- ▶ 「あなたの町の予報官」の新規配置
- ▶ 「気象防災アドバイザー」の一層の活用
- ▶ 「気象防災ワークショップ」の一層の推進 等

対応1-2 住民の防災気象情報等に対する一層の理解促進

～「自助・共助」を強化する取組～

- ▶ 地域防災リーダーの育成支援
- ▶ 報道機関・気象キャスター、大規模氾濫減災協議会等と連携した普及啓発・訓練等の推進

対応1-3 記者会見やホームページ、SNSの活用等、広報のあり方の改善

- ▶ 住民自らが我が事感をもって利活用できるよう、広報のあり方を改善
- ▶ 地域に密着した情報発信の強化
- ▶ 訪日外国人等のためホームページを多言語化

2. 防災気象情報を使いやすくする

対応2-1 土砂災害の「危険度分布」の高解像度化

対応2-2 「危険度分布」やハザードマップ等の一覧性の改善

対応2-3 「危険度分布」の希望者向け通知サービスの開始

対応2-4 「危険度分布」等の精度検証や発表基準の改善とその周知

3. 防災情報を分かりやすくシンプルに伝えていく

対応3 関係機関と連携した避難行動につながるシンプルな情報提供の検討の推進

- ▶ 中央防災会議WGの方針に基づき、関係機関と連携して各防災気象情報について警戒レベルとの対応付けを明確にして分かりやすく発表。あわせて、各情報にキーワードやカラーコード等を付すことを検討。

4. 大雨特別警報への理解促進等

対応4-1 大雨特別警報の位置づけ・役割の周知・広報の強化と記者会見等での発表可能性への言及

対応4-2 大雨特別警報発表の精度向上

- ▶ 現行の大雨特別警報の位置づけ・役割の下で発表基準を見直す。

<今後に向けて>

- 気象庁では、河川や砂防等の関係部局との緊密な連携のもと、推進すべき取組に沿って可能なものから取組を推進。

(参考) 大雨特別警報の位置づけ・役割、相当する警戒レベル

➤ 大雨特別警報は、避難勧告等に相当する気象現象をはるかに超えるような現象が対象。
警戒レベル5相当情報〔洪水〕や警戒レベル5相当情報〔土砂災害〕として運用。

● 位置づけ

大雨特別警報は、避難勧告や避難指示（緊急）に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している蓋然性が極めて高い。

● 役割

- (1) 浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民には直ちに命を守る行動をとっていただくことを徹底。
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まることについて呼びかけ。
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することで、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化につなげる。

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報		住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
		避難情報等		洪水に関する情報		土砂災害に関する情報
				水位情報がある場合	水位情報がない場合	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1 可能な範囲で発令		氾濫発生情報	<u>(大雨特別警報(浸水害))</u> ※2	<u>(大雨特別警報(土砂災害))</u> ※2

※2 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報〔洪水〕や警戒レベル5相当情報〔土砂災害〕として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

特別警報を待ってはならないことが伝わる表現で呼びかけ

【速やかに実施】

- 大雨特別警報の予告や発表の際、特別警報を待ってから最善を尽くせば助かるかのような印象を回避するため、特別警報を待ってから避難するのでは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。
- 大雨特別警報の位置づけと役割について、継続的に周知を実施。

これまでの呼びかけ

特別警報未発表市町村

「特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告等（警戒レベル4）に直ちに従い緊急に身の安全を確保してください。」

特別警報発表済み市町村

「災害がすでに発生している可能性が極めて高く、直ちに命を守るために最善を尽くす必要のある警戒レベル5に相当する状況です。」

改善

改善後の呼びかけ

レベル5相当の「手遅れ感」が伝わるように

特別警報未発表市町村

「特別警報の発表を待ってから避難するのでは手遅れとなります。特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告等（警戒レベル4）に直ちに従い緊急に身の安全を確保してください。」

特別警報発表済み市町村

「災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する状況です。もはや命を守るために最善を尽くさなければならない状況です。」

【来出水期から試行的に実施】

- 大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、特別警報の解除を警報への切替と表現するとともに、警報への切替に合わせて、最高水位の見込みや最高水位となる時間帯などの今後の洪水の見込みを発表。
- 警報への切替に先立って、本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施。
- 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警報に切り替え…」と伝えるなど、どの警戒レベルに相当する状況が分かりやすく解説。

警報への切替に合わせて洪水の見込みを発表

今後の洪水の見込みを発表し、引き続き洪水の危険があること、大川川においてはこれから危険が高まることを注意喚起。

国土交通省 関東地方整備局 気象庁 予報部		
「大雨は峠を越えたが、洪水はこれから」		
■利根川 (最高水位となる時間帯) 利根川では、今後も水位上昇が継続し、利根川中流ではこれから9時間後に、利根川下流では12~21時間後に最高水位に到達する見込み。 (最高水位の見込み) 上流域に降った雨は、2000年の洪水に匹敵する600(mm/2日)を観測していることから、 <u>氾濫危険水位に到達するおそれあり。</u>		
基準観測所	最高水位予想時間	水位見込み
八斗島 (群馬県伊勢崎市)	12日 23:00頃 (到達済み)	避難判断水位超過 (レベル3相当)
栗橋 (埼玉県久喜市)	13日 6:00頃 (3時間後)	氾濫危険水位(レベル4相当)に到達するおそれ
芽吹橋 (茨城県利根市)	13日 9~12時頃 (6~9時間後)	氾濫危険水位(レベル4相当)に到達するおそれ

メディア等を通じて住民へ適切に注意喚起

警報への切替に先立って本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等の協力を得て住民に警戒を呼びかけるとともに、SNSや気象情報等あらゆる手段で注意喚起。



危険度分布 ～洪水～



指定河川洪水予報

（国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

高	■	氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
危険度	■	氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
	■	氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
低	■	氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
	■	発表なし

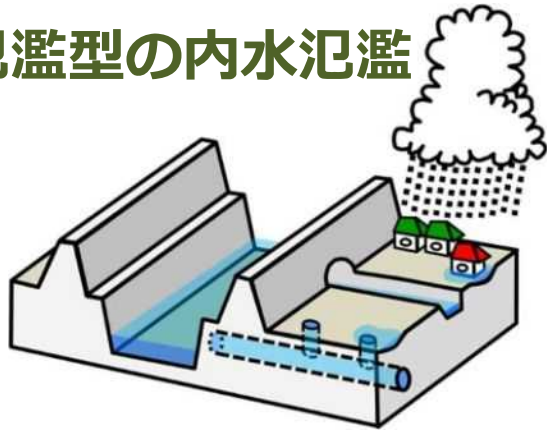
洪水警報の危険度分布

高	■	極めて危険
危険度	■	非常に危険【警戒レベル4相当】
	■	警戒【警戒レベル3相当】
低	■	注意【警戒レベル2相当】
	■	今後の情報等に留意

洪水警報の危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）が出現すると、道路冠水等により、すでに避難が困難な状況となるため、それより前の段階で、遅くとも警戒レベル4の「非常に危険」（うす紫）が出現した時点で避難を開始し、「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了することが大変重要です。

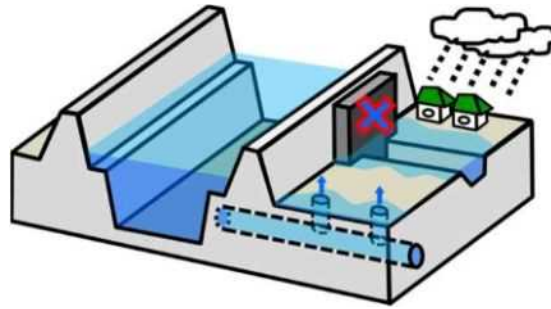
大雨警報(浸水害)・洪水警報が対象とする災害

氾濫型の内水氾濫



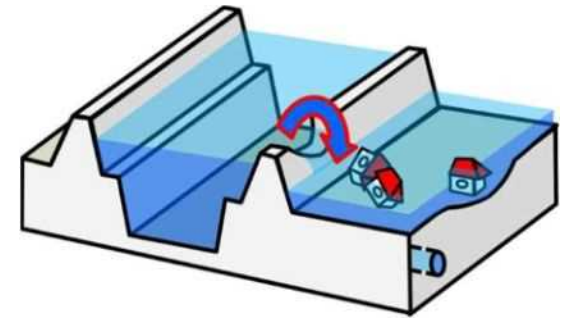
- ✓ 短時間強雨により雨水の排水能力が追いつかない。
- ✓ 河川周辺に限らず発生。

湛水型の内水氾濫



- ✓ 河川の水位が高くなり、周囲の水が河川に排水できない。
- ✓ 河川沿いや合流点付近で発生。

外水氾濫



- ✓ 河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれる。

河川の増水によらない



大雨警報(浸水害)の対象

表面雨量指数

河川の増水に起因



洪水警報の対象

複合基準

(表面雨量指数 + 流域雨量指数)

流域雨量指数

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

〔来出水期を目途に実施〕

- ▶ 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。

改善案（イメージ）



ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)



ボタンON時に凡例を表示

平成30年7月豪雨の被害状況
 ○由良川沿川の舞鶴市、福知山市において浸水被害が発生。
 (※床上浸水 合計約170戸、床下浸水 合計約600戸)



平成30年7月豪雨の概要（近畿管内）《第8報》
 平成30年8月10日近畿地方整備局

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

【来出水期を目途に実施】

- 中小河川まで含めた表示改善には、新たな電文に伴う利用者側のシステム改修が必要となり、一定の準備期間を要することから、洪水予報河川（大河川）と中小河川の2段階に分けて本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の表示改善に取り組む。

現在



第1段階（令和2年度）



大河川の表示改善

第2段階（令和3年度以降）



中小河川も含めた表示改善

平成29年台風21号による出水状況

小矢部川（長江観測所） 氾濫危険水位（レベル4）超過

小矢部川 長江観測所（高岡市）

- 10月22日昼頃より水位上昇が開始
- 22日23:30に水防団待機水位（5.00m）を超過
- 23日2:10に氾濫注意水位（5.80m）を超過
- 23日3:50に避難判断水位（6.90m）を超過
- 23日4:40に**氾濫危険水位（7.30m）を超過**
- 23日6:00に**最高水位（7.68m）**を記録

※HWL：9.13m



観測所位置図



平成29年10月22日 9:00



平成29年10月23日 6:00（ピーク時）

平成30年台風7号と梅雨前線による出水状況

神通川（大沢野大橋観測所） 避難判断水位（レベル3）超過

神通川 大沢野大橋観測所（富山市）

- 7月4日19:00頃より水位上昇が開始
- 5日19:10に水防団待機水位（4.50m）を超過
- 5日20:20に**氾濫注意水位（5.10m）を超過**
- 6日1:00に**避難判断水位（6.10m）を超過**
- 6日1:00に今回出水の**最高水位（6.13m）を記録**

※HWL：7.14m



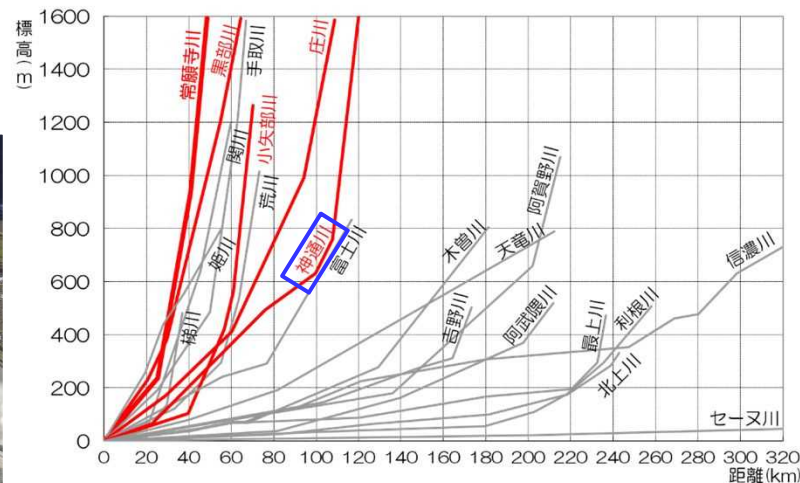
観測所位置図



被災状況（平成30年7月7日）

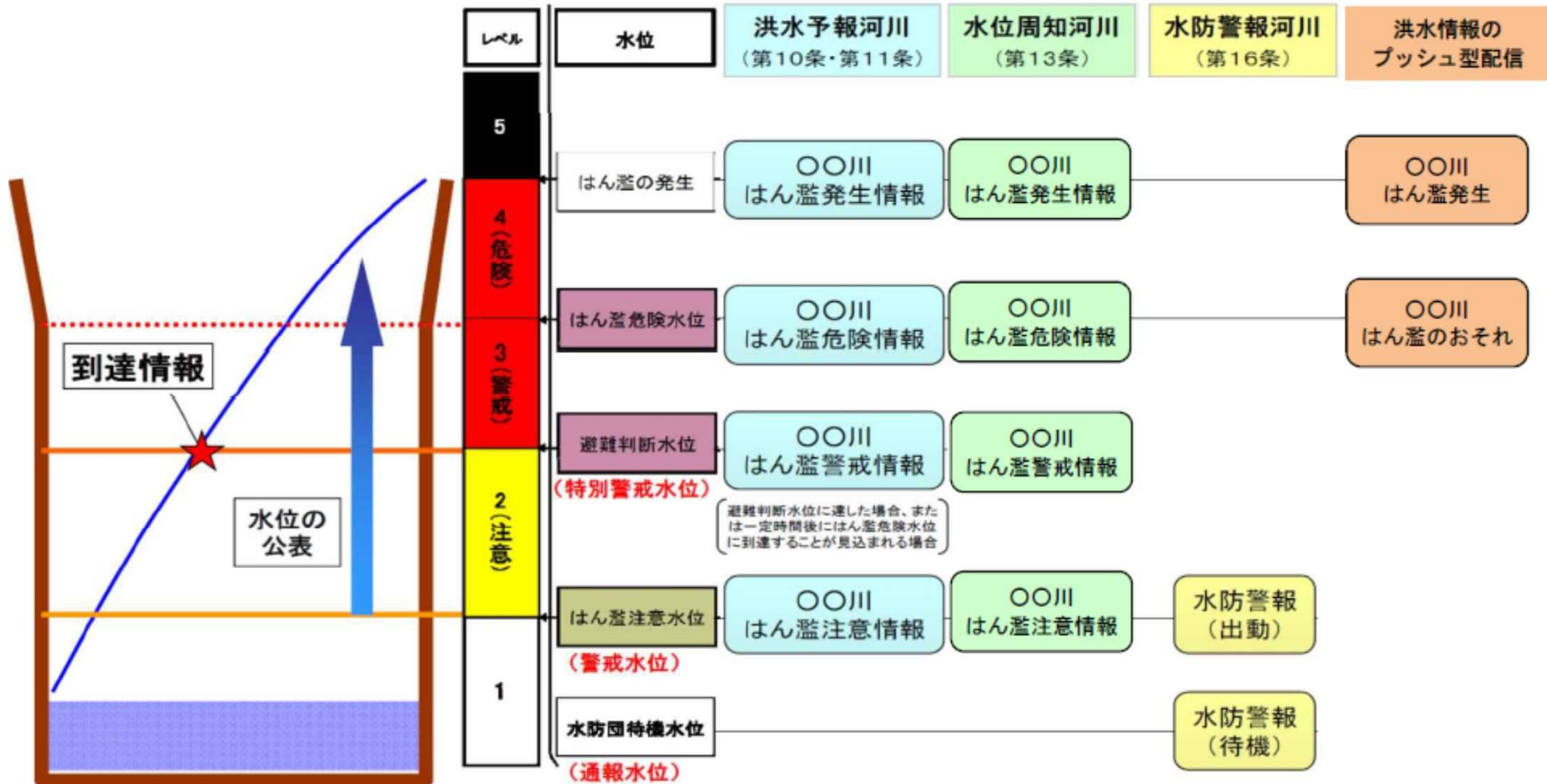


本復旧状況（令和2年2月）



全国河川の河床勾配の比較(赤字:富山県の河川)

洪水予報や水位到達情報のタイミング



- ①洪水予報河川：水位等の予測が技術的に可能な、流域面積が大きな河川（常願寺川、神通川、庄川、小矢部川）
- ②水位周知河川：流域面積が小さく、洪水予報を行う時間的余裕がないため、あらかじめ定めた水位（避難判断水位）の到達情報を周知する河川（神通川水系井田川、熊野川、小矢部川水系渋江川）
- ③避難判断水位：市町村長から避難準備情報などの避難情報が発表される目安となる水位
- ④氾濫危険水位：市町村長が避難勧告を発令する目安となる水位

管内における洪水予報等発表状況

■管内において、はん濫注意水位に到達し、洪水予報や水位到達情報を発表したのは41洪水。

河川名	常願寺川		神通川		井田川	熊野川	庄川		小矢部川			渋江川	合計
	観測所名	大川寺	大沢野大橋	神通大橋	杉原橋	熊野橋	小牧	大門	津沢	石動	長江	蓮沼	
H22													
H23				1						1	1		3
H24											1		1
H25					1《1》			1	1	2	2		7
H26			1	1				1			2		5
H27								1					1
H28						1							1
H29				1	1《1》		1	2	1	2	3<1>		11
H30				1			2	2		1	2		8
R1						1		1		1	1		4
合計			1	4	2	2	3	8	2	7	12		41

数字は、年間を通して洪水予報等が発表された洪水の数

< >:はん濫危険水位に到達し「はん濫危険情報」を発表した洪水の数(内数)

《 》:避難判断水位に到達し「はん濫警戒情報」を発表した洪水の数(内数)

防災情報提供センター

国土交通省が保有する防災情報を「国土交通省災害対応」「河川情報」「気象情報」「渇水情報」「道路情報」「地域の降雨状況」「地震・津波・火山・地殻変動情報」「港湾・海洋情報」の8カテゴリーに分類し、集約。<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

English | 用語集 | サイトマップ | 文字の大きさ 拡大+ 縮小- | サイト内検索 |

ホームに戻る | 国土交通省について | 政策・仕事 | 広報・報道 | 統計情報・白書 | 申請・手続

ホーム >> 報道・広報 >> 災害情報 >> 防災情報提供センター

防災情報提供センター

リアルタイム情報

- リアルタイム雨量
- リアルタイムレーダー
- リアルタイム雨量(広域版)

お知らせ

- 東北地方太平洋沖地震に関する情報リンクを掲載しています。

防災情報提供センター

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。

- リアルタイム雨量
- リアルタイムレーダー/雨量(広域版)
- “気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモニタ

国土交通省防災情報リンク

- 国土交通省災害対応**
 - 国土交通省災害情報
 - 道路災害速報
 - 河川災害
 - 北海道における災害
 - 土砂災害
- 河川情報**
 - 川の防災情報
 - あなたの町のハザードマップ
 - 水文水質データベース
 - XRAIN
 - 浸水想定区域図
- 気象情報**
 - 気象警報・注意報
 - 台風情報
 - ナウキャスト(降水・雷・竜巻)
 - 災害をもたらした気象事例
 - 高解像度降水ナウキャスト
 - 過去の気象データ検索

防災情報提供センターのご利用にあたって

- ご利用環境
- よくある質問
- メンテナンス情報
- ニュース(運用履歴)

災害情報リンク

- データと主な災害の情報
- 雪・風・海氷に関する情報
- 防災トピックス
- 防災知識リンク

携帯端末でのご利用

- 携帯端末からは、/saigai/bosaijoho/i-index.html をご利用ください
- 防災情報提供センター(携帯端末用QRコード)

二次元コード

水情報国土データ管理センターサイト

国土交通省水管理・国土保全局が保有する水に関する情報(「川の防災情報」「平常時からの防災情報」「水文水質データベース」「河川環境データベース」「水害統計調査」等)について、一元的に集約、処理し提供。<https://www5.river.go.jp/>

水情報国土データ管理センター

川の防災情報
(リアルタイム雨量・水位、濁水情報等)

平常時からの防災情報
(浸水想定区域図、ハザードマップ)

水文水質データベース

河川環境データベース
(河川水辺の国勢調査)

水害統計調査

クリアリングハウス
(データの検索)

技術ガイドライン等資料

お知らせ

二次元コード

画面説明と操作方法

画面遷移

水情報国土とは?

水情報国土データ管理センターとは?

更新情報

水に関するリンク集

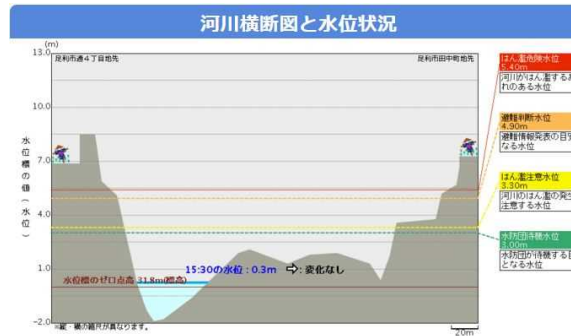
Q&A

川の防災情報サイト

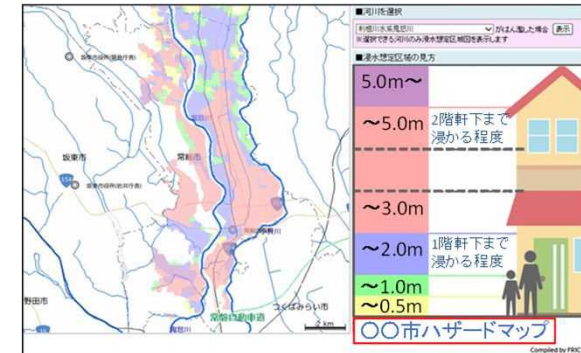
「川の防災情報」サイトにおいて、河川水位、レーダー雨量及びリアルタイムの川の画像等を、パソコンやスマートフォンで閲覧が可能。

雨量	<ul style="list-style-type: none"> ・水管理・国土保全局 ・気象庁 ・都道府県
レーダー雨量	<ul style="list-style-type: none"> ・Cバンドレーダ(現況、履歴) ・XRAIN(現況)
水位	<ul style="list-style-type: none"> ・水管理・国土保全局 ・都道府県
ダム諸量	<ul style="list-style-type: none"> ・貯水池の状況(水位、流入量、貯水量(率)等) ・ダム操作の状況(放流量等) ・貯水池上流の降雨状況
河川予警報	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水予報情報 ・水位周知河川情報 ・水防警報情報 ・ダム放流通知情報 ・堰放流通知情報

川の防災情報配信データ一覧



リアルタイムの川の水位



洪水の浸水想定区域図



リアルタイムの川の画像



洪水予報等の発表状況(イメージ)



スマートフォン版の配信

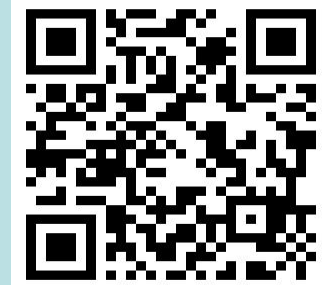
GPS機能により、即座に自分がいる場所の状況を表示可能

パソコン: <http://www.river.go.jp/>
 スマートフォン: <http://www.river.go.jp/s/>

川の水位情報サイト

国、都道府県の河川水位情報を一元的に提供。
河川カメラも表示。https://k.river.go.jp/

二次元コード



■特徴的な機能

①危機管理型水位計に加え、通常水位計や河川カメラが同一画面に表示されます。



②リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、危険度がわかります。



③河川カメラのアイコンを選択することで河川の状況が簡単にみられます。



河川監視カメラ映像の提供（川の防災情報内など）

河川監視カメラの映像については、「川の防災情報HP」ほか、国土交通省の「事務所ホームページ」などにおいて公開。



川の防災情報HPでカメラ映像を公開
(約2700箇所の映像を提供)



桂川

18.1k地点 嵐山渡月橋 (右岸)



ライブカメラ

12.0k地点 桂大橋下流 (右岸)



静止画

宇治川

42.8k地点 下三橋 (右岸)



静止画

37.3k地点 さくらであい館 (左岸)



静止画

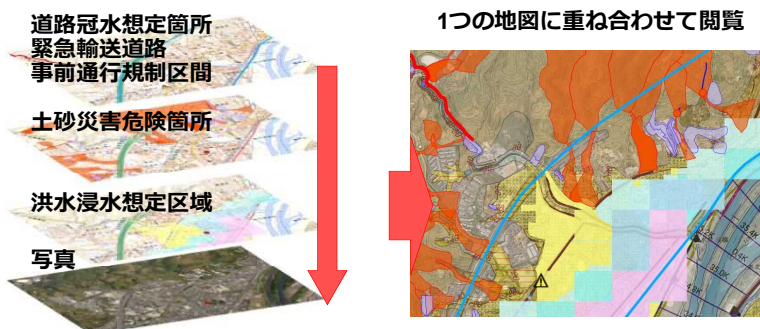
国土交通省ハザードマップポータルサイト

- 全国の防災情報を1つの地図上で重ねて閲覧可能。
- 全国の市町村のハザードマップを検索、閲覧可能。
- 重ねるハザードマップにおいて、洪水浸水想定区域および土砂災害警戒区域の情報提供

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、全国どこでも1つの地図上で重ねて閲覧できます。



わがまちハザードマップ

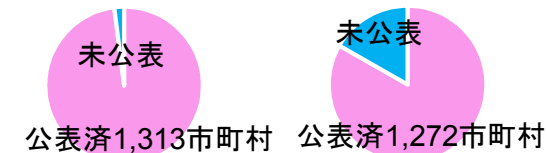
全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



洪水ハザードマップは約98%の市町村で公表済み
(平成30年6月時点)

土砂災害ハザードマップは約83%※の市町村で
公表済み(平成30年3月時点)

洪水ハザードマップ 土砂災害ハザードマップ
対象1,340市町村 対象1,528市町村
(平成30年6月) (平成30年3月)



※土砂災害防止法に基づくハザードマップであり、土砂災害危険箇所をベースとしたハザードマップを含んでいない

二次元コード



浸水ナビ（地点別浸水シミュレーション検索システム）

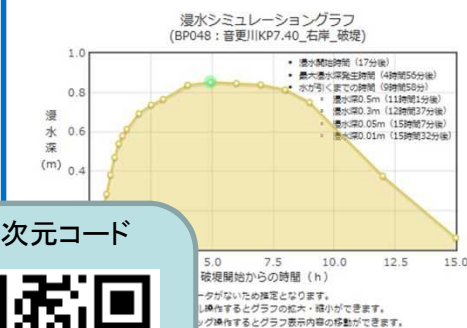
＜システムの主な機能＞

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ) 中心緯度 43.004471 経度 143.212797 移動 度分秒

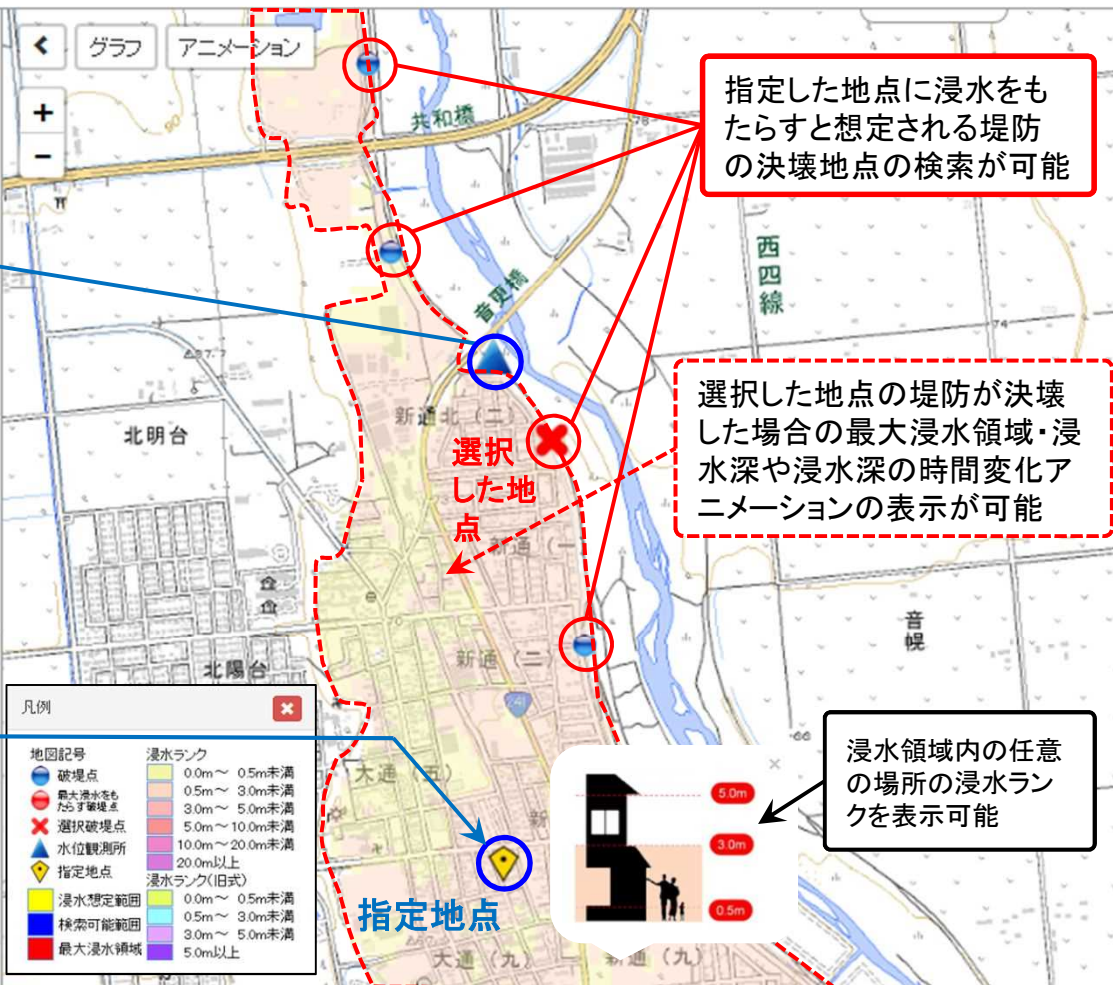
出水時に監視すべき、河川の水位情報(テレメータ水位)の表示が可能



指定した地点における浸水シミュレーショングラフの表示が可能



二次元コード



浸水ナビ <https://sui boumap.gsi.go.jp/>

八浸水ナビ 検索

住民目線のソフト対策 ～自らリスクを察知し主体的に避難できるように～

○携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信を
平成29年5月より配信!

洪水情報のプッシュ型配信イメージ



- 平成29年10月台風21号による出水では、小矢部川の長江観測所（高岡市）では、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達したことから、**沿川の高岡市、射水市等の4市約29万人の住民の皆様に対し、洪水情報のプッシュ型配信を実施。**

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

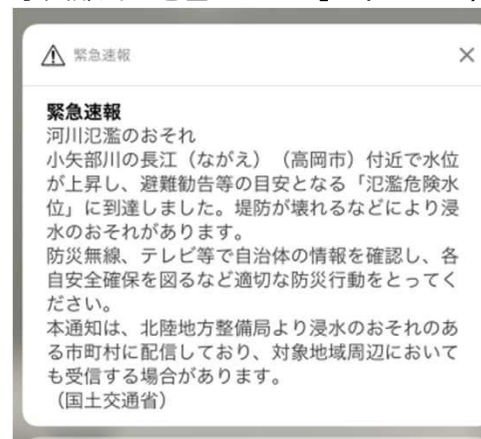
- ・ **河川氾濫のおそれがある情報**
(氾濫危険水位を超過)
- ・ **河川氾濫が発生した情報**

上記2種類の情報について、
緊急速報メールを活用して配信

※プッシュ型配信とは…

受信者側が要求しなくても発信者側からスマホや携帯電話のユーザーへ情報が配信される仕組み

今回配信された緊急速報メール
小矢部川「氾濫のおそれ」(H29.10)



住民目線のソフト対策 ～その他情報提供～

富山河川国道事務所 ツイッター 検索 公式アカウント: @mlit_toyama ※フォロー: 2,984 (R1.10.14時点)

河川や道路の防災情報を発信しています。

パソコン: https://twitter.com/mlit_toyama
 スマホ・携帯電話: https://mobile.twitter.com/mlit_toyama

国土交通省富山河川国道事務所 @mlit_toyama

小矢部川 津沢水位観測所では、19:40に水防団待機水位に到達し、引き続き上昇しています。今後も、洪水に関する情報に注意し、適切な防災行動を取ってください。津沢観測所の水位に関する情報はこちらを確認ください。
river.go.jp/kawabou/4/1601...



富山県小矢部市清水 津沢警報局

国土交通省富山河川国道事務所 @mlit_toyama

庄川 大門水位観測所では、22:40に氾濫注意水位に到達し、水位はさらに上昇しています。今後も、洪水に関する情報に注意し、適切な防災行動を取ってください。大門観測所の水位に関する情報はこちらを確認ください。
river.go.jp/kawabou/4/1601...



富山県射水市二口 大門大橋

防災ネット富山 検索

富山県と国土交通省が光ケーブルで結ばれ、双方の持つ雨量や水位情報などを共有しており、双方の情報を同一画面に合成し県内の状況が一目で把握できます。

パソコン: <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/bousainet/kasen/>

とやまの洪水浸水想定区域図 検索

富山河川国道事務所HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

近年、各地で洪水による大規模な被害が発生していることを受け、国土交通省では「起こりうる最大規模の激しい雨による浸水被害の想定範囲」を順次公表しています。

浸水深さや浸水継続時間など、ご自宅や職場、学校の「水害リスク」を知ることができます。



富山河川国道事務所 検索

富山河川国道事務所HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 Toyama Office of River and National Highway

緊急情報 [2019/10/12 23:00] 【緊急情報】【記者発表】台風19号に伴う豪雨への対応について(第2報)

[2019/10/12 20:00] 【体制情報】警戒体制(河川) 【緊急情報】風水害(河川)警戒体制に移行しました。

[2019/10/12 19:30] 【緊急情報】一般国道156号の通行止について

[2019/10/12 19:30] 【体制情報】警戒体制(道路) 【緊急情報】風水害(道路)警戒体制に移行しました。

ライブカメラ 河川 道路

とやまの洪水浸水想定区域図

とやまの洪水浸水想定区域図

域防災コラボチャンネルの普及促進

ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、コミュニティーFM等のラジオ放送からの音声放送や国土交通省の河川監視カメラ映像とのコラボレーション放送により、より身近な地域の防災情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる。

コミュニティーFM(●●地域防災放送)

音声放送

音声放送

ケーブルテレビ局はLアラート等を用い情報配信

●●地区に避難準備情報が発令
左下の二次元コードで●●地区のハザードマップをチェック

地域水害・土砂災害情報



国交省からの河川監視カメラ映像配信



上越ケーブル テレビジョン

整備局	該当事務所	ケーブルテレビ事業者
北海道	帯広開発建設部	株式会社帯広シティーケーブル
東北	秋田河川国道事務所	秋田ケーブルテレビ株式会社
関東	京浜河川事務所	イツツ・コミュニケーションズ株式会社 YOUテレビ株式会社
	利根川上流河川事務所 渡良瀬川河川事務所 下館河川事務所	ケーブルテレビ株式会社
	千曲川河川事務所	株式会社インフォメーション・ネット ワーク・コミュニティ
北陸	高田河川国道事務所	上越ケーブルテレビジョン株式会社
	木曾川上流河川事務所	シーシーエヌ株式会社
中部	豊橋河川事務所	株式会社キャッチネットワーク
近畿	猪名川河川事務所 淀川河川事務所	株式会社ベイ・コミュニケーションズ 株式会社ジュピターテレコム (近畿整備局エリア内)
	太田川河川事務所	株式会社ちゅピCOMひろしま 株式会社ちゅピCOMふれあい
中国	日野川河川事務所	株式会社中海テレビ放送
四国	野村ダム管理所、山鳥坂ダム 工事事務所	西予CATV株式会社 株式会社ケーブルネットワーク西瀬 戸
	延岡河川国道事務所	株式会社ケーブルメディアワイワイ
九州	武雄河川事務所	株式会社ケーブルワン

地域防災コラボチャンネル社会実験参加事業者(全国18社)

北陸管内で情報提供中のケーブルTV局

事務所等	ケーブルTV局	
本局	エヌ・シー・ティ	
信濃川下流河川事務所	ニューメディア新潟センター(NCV)	
高田河川国道事務所	上越ケーブルテレビビジョン	※
富山河川国道事務所	高岡ケーブルネットワーク	
富山河川国道事務所	となみ衛星通信テレビ	
富山河川国道事務所	能越ケーブルネット	
富山河川国道事務所	射水ケーブルネットワーク	
富山河川国道事務所	ケーブルテレビ富山	
富山河川国道事務所	上婦負ケーブルテレビ	
富山河川国道事務所	新川インフォメーションセンター	
金沢河川国道事務所	金沢ケーブルテレビ	
金沢河川国道事務所	あさがおテレビ	
金沢河川国道事務所	テレビ小松	
千曲川河川事務所	須高ケーブルテレビ(株)	
千曲川河川事務所	(株)インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ	※
千曲川河川事務所	(株)信州ケーブルビジョン	
千曲川河川事務所	(株)上田ケーブルビジョン	
千曲川河川事務所	丸子テレビ放送(株)	
千曲川河川事務所	あづみ野テレビ(株)	
千曲川河川事務所	(株)テレビ松本ケーブルビジョン	
千曲川河川事務所	テレビ北信ケーブルビジョン(株)	
神通川水系砂防事務所	平湯テレビ共同受信施設組合	
神通川水系砂防事務所	新穂高テレビ共同聴視組合	
神通川水系砂防事務所	高原テレビ聴視組合	
神通川水系砂防事務所	神岡特産開発協同組合	

※：地域防災コラボチャンネルの登録局

令和元年5月21日 国交省と日本ケーブルテレビ連盟間で河川情報等の提供に関する
協定締結

令和元年6月～ CATVにおいて、災害時に水位、カメラ映像を放送予定

【北陸：管内でCATV 25社※と協定締結済、カメラ映像や水位情報を提供中】 ※組合を含む

砂防・土砂災害の取組状況

(令和2年度メディア説明会)

令和2年7月2日

北陸地方整備局 立山砂防事務所

富山県 土木部 砂防課

令和元年度の土砂災害の発生状況

土砂災害発生件数

1,996件

土石流等： 478件

地すべり： 99件

がけ崩れ： 1,419件

【被害状況】

人的被害：死 者 22名
 行方不明者 1名
 負 傷 者 12名
 人家被害：全 壊 77戸
 半 壊 74戸
 一部損壊 384戸

8/27
地すべり

まつうら しざちよう たかのめん
長崎県松浦市志佐町高野免



10/12
がけ崩れ

さがみはら みどり まぎの
神奈川県相模原市緑区牧野



死 者：1名
 負傷者：2名
 全 壊：5戸

10/12
地すべり

とみおか たくみ
群馬県富岡市内匠



死者：3名、負傷者：3名
 全壊：1戸、半壊5戸

28
土石流等

さが きんりゆうまち
佐賀県佐賀市金立町



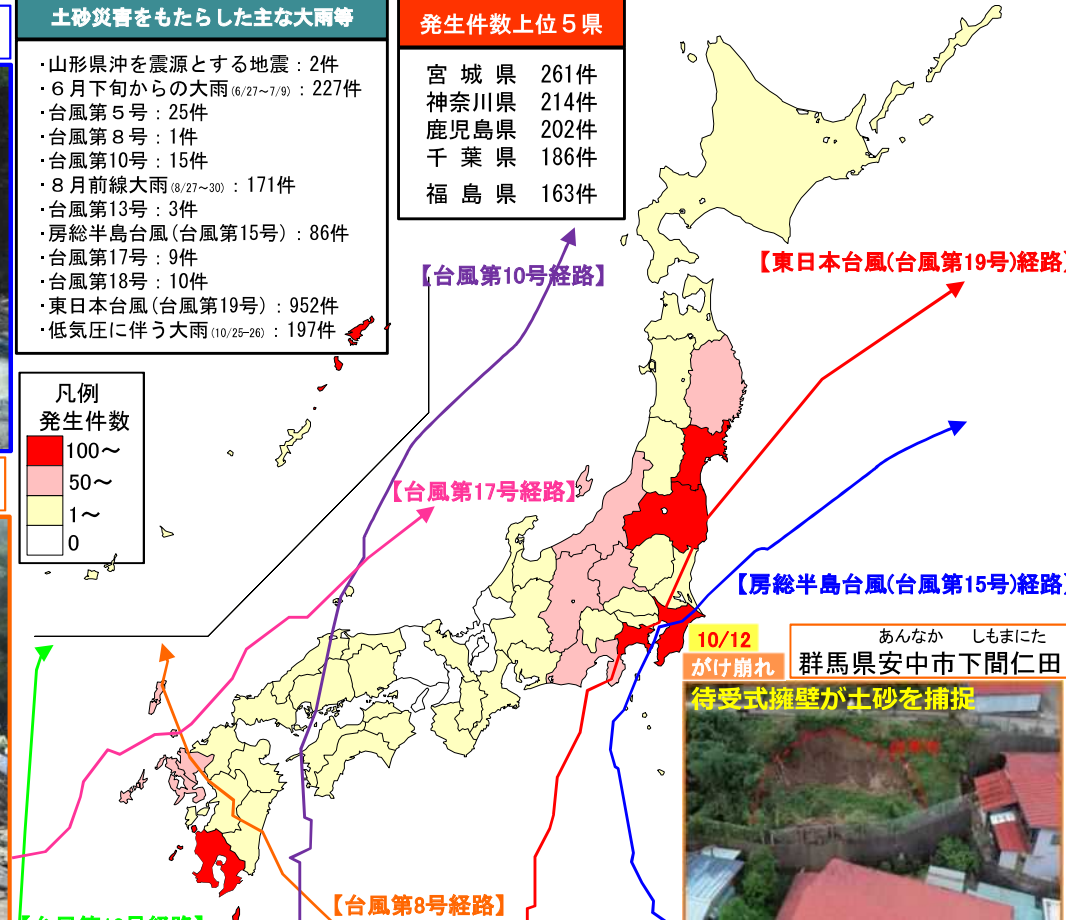
半壊：2戸

土砂災害をもたらした主な大雨等

- ・山形県沖を震源とする地震：2件
- ・6月下旬からの大雨(6/27~7/9)：227件
- ・台風第5号：25件
- ・台風第8号：1件
- ・台風第10号：15件
- ・8月前線大雨(8/27~30)：171件
- ・台風第13号：3件
- ・房総半島台風(台風第15号)：86件
- ・台風第17号：9件
- ・台風第18号：10件
- ・東日本台風(台風第19号)：952件
- ・低気圧に伴う大雨(10/25~26)：197件

発生件数上位5県

- 宮 城 県 261件
- 神 奈 川 県 214件
- 鹿 児 島 県 202件
- 千 葉 県 186件
- 福 島 県 163件



10/25
がけ崩れ

ちば みどり ほんだちよう
千葉県千葉市緑区誉田町



死 者：2名
 全 壊：2戸

14
がけ崩れ

そおし おおすみちよう さかもと
鹿児島県曾於市大隅町坂元



死 者：1名
 全 壊：1戸

10/12
がけ崩れ
あんなか しもまにた
群馬県安中市下間仁田
待受式擁壁が土砂を捕捉



10/13
土石流等

いぐ まるもりまち
宮城県伊具郡丸森町



死 者：4名
 行方不明者：1名



土砂災害

身を守る3つのポイント



台風や大雨
に備えて

①お住まいの場所や勤務先などが土砂災害警戒区域か、ハザードマップで確認する。

雨が降り
始めたら

②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

豪雨
になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された時、夜間の大雨が予想される時は早めに避難する。

市町村による避難の準備(土砂災害の特性を考慮した避難の考え方)

土砂災害警戒区域の「内」から「外」へ避難

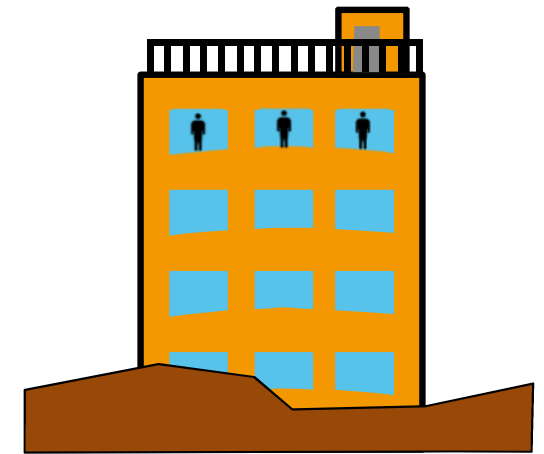
○親戚や友人の家へ避難を検討する際には、土砂災害警戒区域の外であるかどうか事前に確認するよう、地域住民に対して呼びかけ

○既指定の避難所以外に新規に避難所を開設したり、ホテルや旅館等を避難所として活用する際には、土砂災害警戒区域の外であることを事前に確認

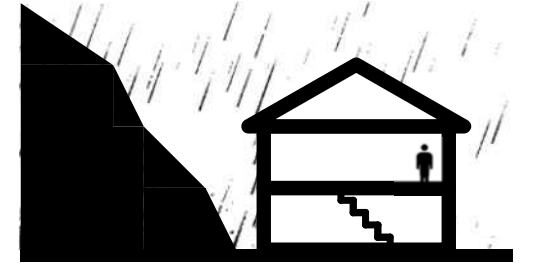
○避難場所に避難できない場合には「次善の策」を取ることを、地域住民に対して呼びかけ

近隣の堅牢な高い建物(鉄筋コンクリート造等)の高層階へ「移動」

避難場所が土砂災害警戒区域の外にあるか、事前に土砂災害ハザードマップ等を確認



自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に「退避」



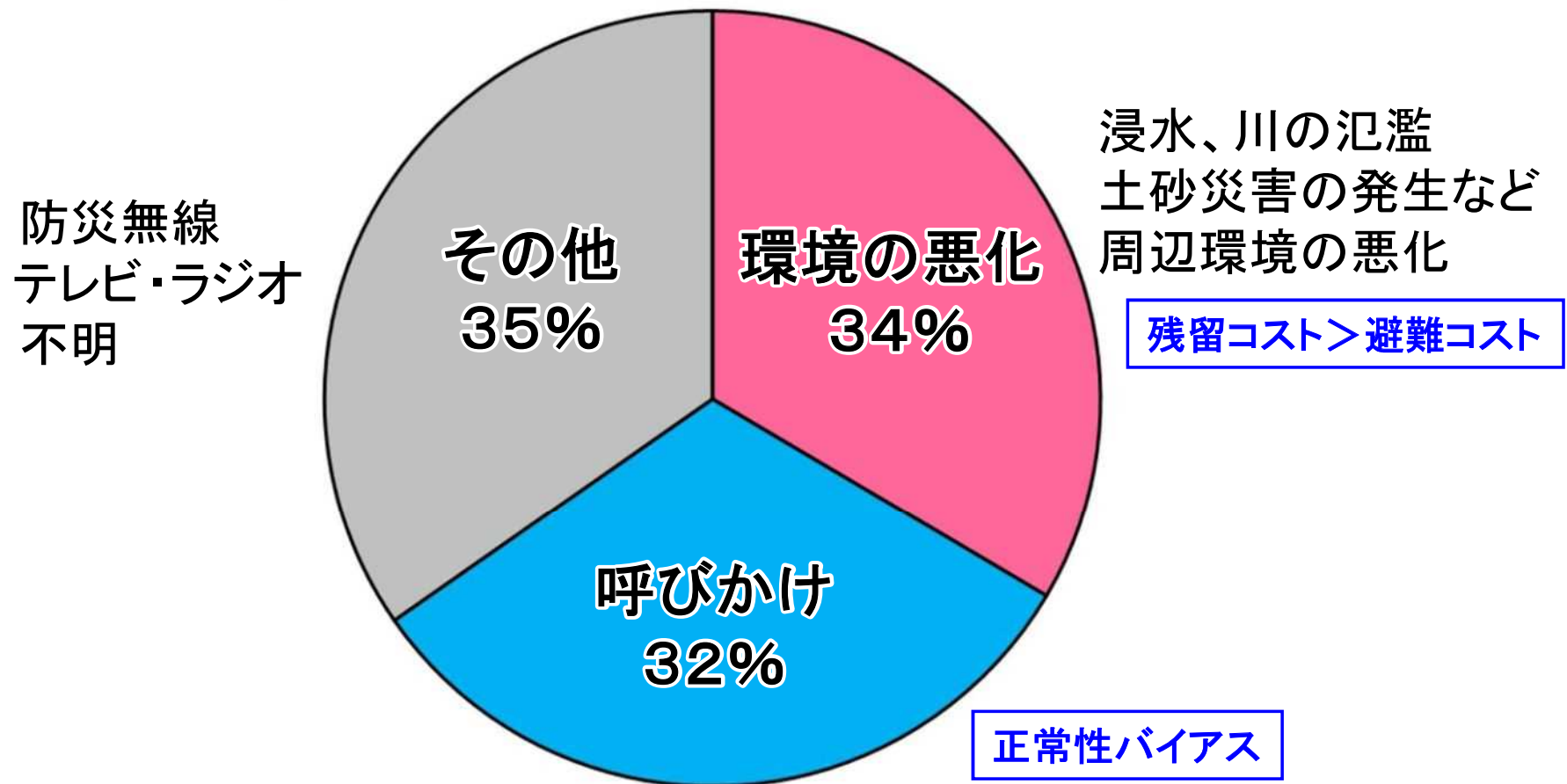
○土砂災害の避難行動に理解を深めるため「土砂災害警戒避難の好事例集」を活用



住民の避難行動 ～避難のきっかけ～

○平成30年7月豪雨災害における「避難のきっかけ」についてのアンケートでは、環境の悪化、呼びかけ、その他の要因が、それぞれ約3割となっている。

最初に避難するきっかけとなったのは何か



消防、警察、近所の人、家族等の呼びかけ

事前の避難により難を逃れた事例(富山県魚津市)

うおづし

- 魚津市では、午後10時30分に土砂災害警戒情報が発表され、県から市防災部局や消防部局にはFAX及びメールにて情報伝達された。
- これを受け、市から速やかに地域の自主防災組織のリーダーや区長へ連絡を行った。(夜間の避難による2次災害を懸念し、避難勧告は発令せず)
- その後、住民が前兆現象(木が折れるような音等)に気づき、災害発生前に公民館に自主避難を行った。(区長の呼びかけが前兆現象の早期発見や自主避難に繋がった)



【災害の経緯】平成26年7月19日

PM10:30 土砂災害警戒情報発表
市から区長等へ連絡

PM11:00頃 住民が前兆現象を確認し、土砂災害警戒区域外の公民館へ
自主避難(15世帯40人)

AM 0:00頃 土石流が発生し神社が倒壊



【現地の方の声】

- 山からバリバリと木が折れる音が聞こえた。
- たい肥のもっと腐った臭いが強くなり、身の危険を感じた。
- 土砂が崩れて、家が埋まってしまうんじゃないかとすごく怖かった。
- このまま家にいたらダメと思い逃げなくてはと思った。



富山県土砂災害警戒情報支援システム

URL <http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/>

・土砂災害の危険度状況図、雨量メッシュ情報等をリアルタイムに確認可能

1. メール配信サービス

<表示例>

【土砂災害警戒情報】
08月20日 11時50分発表
▼次の地域に『土砂災害警戒情報』が発表されました。
高岡市、氷見市
下記のアドレスにより土砂災害警戒情報の関連情報がご覧になれます。
<http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/m/>
情報配信元：富山県土木部 砂防課

次の情報をメールで自動配信します。

- 土砂災害警戒情報
- 大雨警報・注意報、洪水警報・注意報

2. 情報閲覧サービス

携帯電話から「土砂災害警戒情報支援システム」とほぼ同様の情報を閲覧できます。

事前登録していただいた県民に土砂災害警戒情報等をメールで自動配信
(平成21年4月から運用 砂防モバイルサービス)



QRコード

- ・登録方法は、entry@sabo.pref.toyama.lg.jp宛に空メールを送信していただくと登録用のメールをお届けします。
- ・登録時に受信地域や受信情報を選択できます。

リアルタイムの土砂災害危険度をスマホで確認できます

- 降雨による土砂災害警戒区域の危険度を示す「大雨警戒レベルマップ※」が、全国一斉の提供を令和元年6月25日に開始。
 - 砂防部では、全国の土砂災害警戒区域等のデータ提供、表示方法を助言する等、全国への展開を支援。
- ※ ヤフー(株)による提供

土砂災害警戒区域



都道府県砂防部局が調査・指定
国土交通省がオープンデータ化

×

土砂災害警戒判定メッシュ情報



気象庁が発表

提供

大雨警戒レベルマップ

広島県・ヤフー(株)が共同開発



6月27日沖縄県

土砂災害警戒区域毎の土砂災害の危険度を5段階で表示 (GPSにより現在地の表示も可能)

危険度の色と避難行動

色が持つ意味	住民等の行動の例 ^{※2}	相当する警戒レベル
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生しているもおおしくない。この状況になる前に土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。	4相当
非常に危険	命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	3相当
警戒	避難の準備が整い次第、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。	2相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。特に、危険度分布をこまめに確認する。	1相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

土砂災害警戒情報のプッシュ通知



Yahoo!防災速報アプリ

アクセス

大雨時にアクセスの多いサイト



Yahoo! 天気アプリ

アクセス



Yahoo! 天気・災害

全国一斉の提供を
6月25日開始

富山河川国道事務所の事前通行規制区間

「事前通行規制区間」とは

大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などを基にそれぞれ規制の基準等を定めて、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施する区間です。

・令和2年6月16日現在、富山河川国道事務所管内の事前通行規制(雨量規制)区間は、4路線5区間です。

図-1 雨量規制区間位置図



表-1 雨量規制区間一覧

路線名	区間	距離標	延長(km)	規制条件	危険内容	指定年度	摘要
				基準値			
8	富山県小矢部市安楽寺 石川県河北郡津幡町九折	293.6 ~ 295.2	1.6	連続雨量 180mm	土砂崩落	S44	
41	富山県富山市猪谷 富山県富山市片掛	221.9 ~ 223.5	1.6	連続雨量 120mm 雪崩発生が予想される時	落石等雪崩	S44	
156	富山県砺波市庄川町小牧 富山県砺波市庄川町金屋	191.7 ~ 194.2	2.5	連続雨量 150mm 雪崩発生が予想される時	土砂崩落落石等 雪崩	S50	
160	富山県氷見市中波 富山県氷見市宇波	21.2 ~ 26.9	5.7	連続雨量 160mm	土砂崩落落石等	S48	
160	富山県氷見市宇波 富山県氷見市藪田	26.9 ~ 29.2	2.3	連続雨量 140mm	土砂崩落落石等	S48	

表-2 平成25年度以降の通行規制実績

路線名	区間	距離標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
								R1	
8	富山県小矢部市安楽寺 石川県河北郡津幡町九折	293.6 ~ 295.2	1						
41	富山県富山市猪谷 富山県富山市片掛	221.9 ~ 223.5	2				1	1	1
156	富山県砺波市庄川町小牧 富山県砺波市庄川町金屋	191.7 ~ 194.2	2				2	1	1
160	富山県氷見市中波 富山県氷見市宇波	21.2 ~ 26.9	2				1		
160	富山県氷見市宇波 富山県氷見市藪田	26.9 ~ 29.2	2				1		

情報発信方法

記者発表FAXの内容を事務所ホームページ・ツイッターに掲載

【タイミング】

◆記者発表時

ポイント: 災害対応状況等を随時更新

The screenshot shows the website of the Toyama Office of River and National Highway. The header includes the logo and name of the office. A navigation menu is visible with options like 'Home', 'River Information', 'Road Information', and 'Various Information'. A prominent red box highlights an emergency information section with a red exclamation mark icon, containing text about a change in road disaster attention system. Another red box highlights a green section titled '富山県内・全国の防災情報' (Disaster Preparedness Information in Toyama Prefecture and Nationwide). A third red box highlights the Twitter link in the left sidebar. The URL in the browser is http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/.

緊急災害情報として事務所ホームページ上部に表示